

育成を目指す資質・能力

【知識・技能】外国との関わりや原材料の確保などについて、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、貿易や運輸の様子を理解する。

【思・判・表】交通網の広がりや外国との関わりなどに着目して問いを見だし、貿易や運輸の様子について考え表現する。

【学びに向かう力等】工業生産における貿易や運輸について、予想や学習計画を立てたり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

ICT活用のポイント

自分を考えもち表現すること、またスピーディに考えを共有し、共通点や相違点等の比較により考えを広げ、深める。

【つかむ】

身の回りの輸入品に興味をもち、学習の見通しをもつ。

輸入についての資料を調べ、日本の輸入の特色を明らかにしよう。

【追究する】

日本の輸入について、輸入量国内生産、品目、相手国とその変化等からその特色を多面的・多角的に考察し表現する。

【まとめる】

日本の輸入の特色を、他者との比較により多面的・多角的に考察し、表現する。

事例の概要

- 資料をもとに日本の輸入の特色を捉える。
 - 1 輸入量と国内生産量の割合、輸入相手国の資料から輸入の特色を捉える。
 - 2 輸入品の割合の変化、国産製品と外国産製品の比較から輸入の特色を捉える。
- 日本の輸入の特色について多面的・多角的に考察し、表現する。

事例におけるICT活用の場面

- 1 資料の提示
資料の提示は、プレゼンテーションソフト、学習支援ソフトを使用して提示した。
- 2 考えの共有、話し合い、考えを深める
表計算ソフトに自分の考えを表現する。他者の考えが同時に提示され、参考にしながら考えを表現する。またいろいろな考えと比較し、多面的・多角的に考察し表現する。
- 3 導入での事前アンケートの結果提示や、追究する場面で輸入の特色を考える際に言語処理ソフトを活用してキーワードを提示した。キーワードの提示により、考えを整理しながら特色について表現する。

【社会・小学校5年】工業生産を支える輸送と貿易

【事例におけるICT活用の場面】



自分の考えを表計算ソフトに書き込んでいる様子



スクリーンに、集約した考えを提示し、比較しながら日本の輸入の特色を考察する

- 資料提示については児童全員が資料を見やすくするためプレゼンテーションソフト、学習支援ソフトを用いた。
→同じ資料をはっきり見ることができた。グラフや地図など資料の見方について一つ一つ確認することができた。
- 自分の考えを表現し、共有する場面では表計算ソフトを使用し、互いの考えを視覚的に共有した。自分の考えと共通点や相違点を考え、比較しながら日本の輸入の特色について考え、表現した。
→考えを持ってない児童も、他者の考えを共有できるため、自分の考えを持つための手立てとなった。他者の考えとの比較がすぐにでき、多面的・多角的に考察することができ、考えを深めることができた。
- 言語処理ソフトを使用してキーワードを提示することで、特色について捉えやすくすると共に、日本の輸入の特色について多面的・多角的に捉え、表現することができた。
→キーワードを使って考えることで、日本の輸入の特色をまとめやすくなった。

【活用したソフトや機能】

学習支援ソフト プレゼンテーションソフト 表計算ソフト
ウェブ会議 言語処理ソフト